

留学される皆様へ

国際ロータリー第2780地区

2007－2008年度ロータリー財団委員長

竹内万也(PG) 秦野RC

国際親善奨学金はロータリー財団発足以来、民間レベルとしては世界最大規模の奨学金制度であります。ロータリー財団奨学金の目的は、男女を他国の教育機関で勉強させることによって、相異なる国民間の理解と友好関係を増進に寄与することにあります。毎年約800～1,000名位の財団奨学生がロータリー・クラブと地区、学校や市の機関、その他のフォーラムへの公式、非公式の参加を通して、受け入れ国の人々に対する優れた「親善使節」として行動しております。

正に Ambassador としての活躍が期待されております。1947年に創設されて以来、財団の援助の下、およそ100カ国から、37,000人近くの人々が外国へ留学してきました。

また、財団は2008－09年度に大学に留学するための国際親善奨学金を受ける低所得国出身者27名を選出しました。27名の奨学生は、エチオピア、ガアテマラ、インド、カザフスタン、コンゴ、マケドニア、タンザニアをはじめとする地域の出身者たちであります。今回の奨学生達の留学先は、ハーバード大学とジョン・ホプキンス大学、サイモン・フレイザー大学(カナダ)、ウプサラ大学(スウェーデン)、ビクトリア大学ウェリントン校(ニュージーランド)等であります。それぞれの奨学生達は、2008－09年度奨学生として財団から選ばれた先進国の学生達に合流します。

ロータリー財団の他に類をみない最良の特徴は、全ての財団奨学生に出身国及び留学先の国のロータリアンがカウンセラーとして必ず付き、家族の一員として温かく迎えてくれることでありましょう。皆様はこのプログラムの意図するところを十分に理解していただき、ご自分の専門を研究して頂くことは言うまでもありませんが、皆様方それぞれご自身がこの機会を通して、社会、世界理解、平和、ロータリー活動に自ら積極的に寄与、活動して頂きたいのであります。

これからの皆様の国際的なご活躍を期待しております。

* 心で聞いた話は残る

* Leader とは

L:listen【聞く、聴く】 e:explain【説明する】 a:assist【補助する】

d:discussion【話し合い、討論】 e: evaluate【評価する】 r:response【反応】

* 赤飯のおむすびの話